

## 平成 30 年度「大阪文化賞」受賞

あさい 朝井 まかて	59 歳	
分野：文学	大阪府生まれ	
現職：作家		

### 《受賞理由》

氏は、平成 30 年 2 月、民話をストーリーに取り入れた『雲上雲下』（徳間書店）を発表し、江戸文化や風俗を描いたこれまでの作品とは一線を画す、新境地を開かれました。

その後、同年 7 月には、江戸時代最大の贈収賄スキャンダル「辰巳屋一件」を題材に、大坂商人の気質や生き様、そして当時の風俗を瑞々しく描き出し、政治や上方と江戸の経済の問題などが絡み合う、歴史エンターテインメント作品『悪玉伝』（KADOKAWA）を発表し、多くの読者から高く評価されました。

また、現存する作品や史料が少ない北斎の娘「お栄（応為）」の人物像を、確かな存在感を与えて作り出した、平成 28 年 3 月の著作『眩』（くらら）（新潮社）は、平成 29 年 9 月 18 日に NHK でドラマ化（『眩（くらら）～北斎の娘～』）され、話題を集めました。

このように、氏は、大阪を拠点に、上質の話題作をハイペースで発表し続けるなど、大阪から日本の文学発展に寄与するとともに、大阪の文化振興への貢献は極めて大きく、今後の更なる活躍を期待して大阪文化賞を贈ります。

## 《略歴》

昭和 34 (1959) 年：大阪府羽曳野市生まれ。

昭和 56 (1981) 年：甲南女子大学文学部国文学科卒。

平成 7 (1995) 年：広告制作会社を経て、コピーライターとして独立。

平成 18 (2006) 年：大阪文学学校に在籍。

平成 20 (2008) 年：『実さえ花さえ』で、第 3 回小説現代長編新人賞奨励賞を受賞して作家デビュー。  
今日に至るまでほぼ毎年作品を発表し続け、数々の賞を受賞。

平成 29 (2017) 年：『眩』がNHKでドラマ化。

平成 30 (2018) 年：『ぬけまいる』がNHKでドラマ化。

## 《著書》

平成 20 (2008) 年 『実さえ花さえ』(講談社)

平成 22 (2010) 年 『ちゃんちゃら』(講談社)

平成 24 (2012) 年 『ぬけまいる』(講談社)、『すかたん』(講談社)、『先生のお庭番』(徳間書店)

平成 25 (2013) 年 『恋歌』(講談社)

平成 26 (2014) 年 『阿蘭陀西鶴』(講談社)、『御松茸騒動』(徳間書店)

平成 27 (2015) 年 『藪医ふらここ堂』(講談社)

平成 28 (2016) 年 『眩』(新潮社)、『残り者』(双葉社)、『落陽』(祥伝社)、『最悪の将軍』(集英社)

平成 29 (2017) 年 『銀の猫』(文藝春秋)、『福袋』(講談社)

平成 30 (2018) 年 『雲上雲下』(徳間書店)、『悪玉伝』(KADOKAWA)、『草々不一』(講談社)

## 《受賞歴》

平成 20 (2008) 年

『実さえ花さえ』第 3 回小説現代長編新人賞奨励賞  
(文庫化の際に『花競べ 向嶋なずな屋繁盛記』に改題)

平成 25 (2013) 年

『恋歌』 本屋が選ぶ時代小説大賞 2013

平成 26 (2014) 年

『恋歌』第 150 回直木三十五賞、『阿蘭陀西鶴』第 31 回織田作之助賞

平成 27 (2015) 年

『すかたん』第 3 回「大阪ほんま本大賞」

平成 28 (2016) 年

『眩 (くらら)』第 22 回中山義秀文学賞

平成 29 (2017) 年

『福袋』第 11 回舟橋聖一文学賞

平成 30 (2018) 年

『雲上雲下』第 13 回中央公論文芸賞

『悪玉伝』第 22 回司馬遼太郎賞